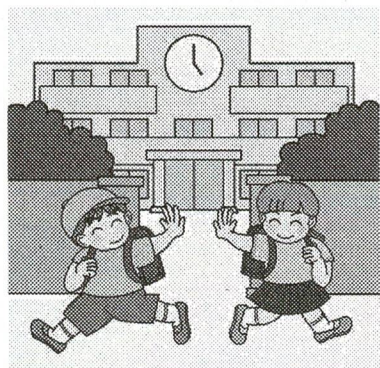


学校施設

学校修繕は
必要に応じて速やかに！

瀨川貞清議員は、学校施設等の修繕費について学校や施設からの要望額、それに対する予算要求額、および決算額について質しました。

教育委員会は、令和5年度の小中学校と給食センターについて、各施設から要望のあった総額は7億6千969万5千円に對し、予算要求した金額は、4億3,820万1千円、（その率は56・9%）、その決算額は3億9,666万5千円、予算に對して9割ほどとなっていると回答しました。

奥州市議会9月定例会決算審査特別委員会は、9月11日から20日まで開かれました。今回は、17日の教育委員会と協働のまちづくり部門での日本共産党市議団の質疑の概要を紹介します。

民報
おうしゅう
読者版

発行
赤旗奥州出張所
水沢大手町三丁目
59番地
Tel 24-2021
Fax 24-2049

菅原明議員は、地元行事で演奏を披露した吹奏楽部が「楽器の修理や遠征費用のための募金

中学校の吹奏楽部で使用している楽器の修理等の現状は？



瀨川議員は、この数字は統合を控えた特別修繕が含まれているのか質し、当局は、令和5年の統合改修である若柳小学校と南都田小学校も含んでいる、と述べました。

この数字は、通常の修繕要求とはかけ離れた統合を控えた特別修繕を計上したものです。後ほど、当局から取り寄せた資料によると、統合のない幼稚園や給食センターなどの予算額や決算の割合は、施設からの要望額に比し極端に低くなっており、必要な修繕を行うべきです。

箱」を設置していたことを取り上げ、修理費用等の現状について質しました。

教育委員会は、授業や部活動で使用している楽器は学校の備品であり、修理費用は市が支出している。個人所有の場合や部活動のみで使用している楽器については、個人もしくは保護者会で負担していただいている、と述べました。



小中学校のトイレ洋式化

ぜひ前倒しで！

佐藤美雪議員は、小中学校のトイレ洋式化の進捗状況について質問。統合校と既存校での洋式化率の格差を指摘し、和式トイレを使えず困っている子どもたちの現状に配慮するためにも、優先的に財政投入、計画を前倒しして取り組むことが必要ではないかと質しました。

当局は、総合計画に則って行っているが、目標を前倒しして進められるよう、協議したいと述べました。

新医療センター整備をより慎重に進めることを
求める請願書 不採択へ

9月10日、奥州市の未来を育む会（後藤かおり代表）が提出した「新医療センター整備をより慎重に進めることを求める請願」審査が教育厚生常任委員会で行われ、委員会でも不採択。27日、本会議の審議でも不採択となりました。

この請願は、「広く市民に情報を公開し、意向を聞き取ること、医師会等との協議を尽くすこと」を求めるものでした。しかし、請願書の内容を吟味していくと、「市民や医師会からの理解や合意がない中での整備は時期尚早」と新医療センターを整備すること自体を疑問視。議論を先延ばしするもの、と判断されました。共産党市議団は市民のいのちと健康を守り、早期に建て替えが必要な水沢病院の現状から請願には反対しました。以下、採択の賛否状況についてお知らせします。

※賛成

矢野直美、菅野至、佐藤正典、佐々木友美子、東隆司、小野優、及川春樹、高橋晋、千葉康弘、廣野富男、及川佐

※反対

佐藤美雪、門脇芳裕、高橋善行、千葉和彦、小野寺満、高橋浩、瀨川貞清、千葉敦、飯坂一也、阿部加代子、中西秀俊、菅原明、小野寺重、藤田慶則、今野裕文、加藤清

協働のまちづくり部門

図書館司書は正規職員として

採用すべきではないか

千葉敦議員は、市立図書館で勤務する図書館司書の働き方について質問。有資格者であり、専門的な仕事であるため、正規職員として採用すべきだ、と主張しました。

当局は、4つの図書館と衣川セミナーハウス図書室を合わせて、正職員が12名、会計年度任用職員で図書館司書の資格を

持つ読書指導員が21名だったと回答。図書館司書の業務として、利用者の求める図書を探し出すレファレンス業務は、配置している正職員で対応できている。その他の企画運営などに読書指導員があたる形になっている、と述べるにとどまりました。

